

まるごとふくしまウィーク事業 仕様書

1 事業の目的

根強い風評と時間の経過と共に進む風化に対応するため、大消費地である首都圏において、一定期間、ふくしまの正確な情報や魅力等を強力に発信することを目的とする。

2 事業名

まるごとふくしまウィーク事業

3 委託業務内容

令和6年9月の一定期間（2週間以上）に、首都圏（人が多く集まる場所）において、下記のとおり、ふくしまの正確な情報や魅力等を発信する企画を立案して実施するとともに、委託期間中に福島県が別に実施する風評・風化対策事業（TOKYO TORCH Parkにおける情報発信イベント等）と連携した企画を立案して実施し、福島県による風評払拭・風化防止の取組を強力に首都圏へ発信する。

記

(1) 「ふくしまの魅力を知る・味わう」をテーマとするイベントの企画立案とその実施

ア 首都圏のデパート内飲食店等における福島県産の食材を使った期間限定メニューの提供など、複合的な県産品の魅力発信等を企画立案し、実施すること（9月の一定期間（2週間以上））。なお、主催するイベントは次の(ア)、(イ)の2つで、これらを組み合わせることで2週間以上になるように実施し、その企画立案に当たっては、次の点を留意すること。

(ア) 首都圏における飲食店とのタイアップ企画（福島県産の食材を使った期間限定メニューの提供など）とその実施

人が多く集まる場所における福島県産の農林水産物や日本酒等を使用したタイアップ企画を立案して、一定期間実施すること。

(イ) 首都圏における物産展

人が多く集まる場所において、幅広い世代を対象とした物産展を開催すること。
なお、県内市町村ブースの設置など、福島県内市町村の情報や魅力を発信できるように配慮すること。

イ 上記アの他、福島県が別に実施する次のイベントも一体的にPRすること。

(ア) 東京駅前の新たな交流スポット（TOKYO TORCH Park）における福島県産品の振興、観光誘客、交流人口増加、移住・定住に係る取組や情報など、福島県の魅力や復興状況を発信するイベント（8月下旬から9月初旬に開催予定）

(イ) 東京にある福島県ゆかりのスポットを巡るスタンプラリー

(ウ) ふくしまの酒が新橋（東京都港区）に集結する「ふくしまの酒まつり」（10月初旬に2日間開催予定）

(エ) 首都圏で開催予定の福島県産農林水産物の魅力等を発信するイベント（10月上旬に2日間開催予定）

(オ) 東京都港区六本木での福島県浜通りの魅力をぎゅっとつめこんだ観光交流フェスティバル（10月中旬に2日間開催予定）

(カ) 神奈川県川崎市で福島県及び県内市町村の職員、県内事業者が一体となって、福島県の復興状況や農産物・観光の魅力発信する「ふくしまフェスタ」（10月下旬に2

日間開催予定)

(2) 「ふくしまを学ぶ・理解する」、「ふくしまの復興の姿を見る・聞く」をテーマとする
イベントの企画立案とその実施

ふくしまの食の魅力発信や今後の発展について考える機会に加え、交流や体験を通じて、ふくしまに興味を持ち、その現状を学び、理解してもらう機会を企画立案して実施すること。

例：ビジネスパーソン等を対象とした食産業の振興に関わる方を招いたトークイベント、ライブキッチンにてふくしまの食材を用いた料理や日本酒を提供するフードセレモニーなど。

(3) 上記に関連した周遊企画

上記(1)から(2)の事業に、日本橋ふくしま館 MIDETTE を加えた周遊企画を立案し、各事業が連携して一体性のある取組となるように工夫して実施すること。

(4) 独自の企画

上記(1)から(2)の事業以外で、ふくしまの正確な情報や魅力等を効果的に発信できる独自企画を立案し、実施すること。

(5) 広報

上記事業を実施する期間に関して PR 効果の高いネーミング（例：まるごとふくしまウィーク）を提案し、そのネーミングを用いて、ポスターやデジタルサイネージ、SNS での広報など、各事業への誘客に結びつくような効果的な情報発信を実施すること。

(6) 業務管理

上記に関して、連絡調整（助言を含む。）、スケジュール管理をすること。また、立案する企画については、参加者数（来場者数）を把握すること。

(7) 報告書の作成

上記に関して、効果測定を含めた報告書を作成すること。